

平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

| | | | | | | | |
|----------------------------|--|----------|-----------------|---|------|--|----------|
| 事業名 | ナノマテリアルの有害性等調査事業 | | 担当部局庁 | 厚生労働省 労働基準局 | | 作成責任者 | |
| 事業開始・終了(予定)年度 | 平成21年度 | | 担当課室 | 安全衛生部 化学物質対策課 | | 半田 有通 | |
| 会計区分 | 労働保険特別会計 労災勘定 | | 施策名 | 労働者が安全で、健康に働ける職場を確保する。 | | | |
| 根拠法令 (具体的な条項も記載) | 労働者災害補償保険法第29条第1項第3号 | | 関係する計画、通知等 | - | | | |
| 事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内) | 現在、ナノマテリアルの労働者への生態影響は未知であり、労働者のばく露形態を想定すると吸入試験による長期のがん原性試験の実施が望まれるが、ナノマテリアルについては当該試験法が未確立のため、取り組まれていない状況にあることから、吸入試験による長期のがん原性試験方法の確立に向け、試験装置の製作・改造及び性能試験を行うとともに長期がん原性試験の予備試験を行うこと、並びに遺伝毒性試験等によるナノマテリアルに係る有害性等の情報収集を行うことを目的とする。また、ナノマテリアルの作業環境中における挙動等を明らかにする。 | | | | | | |
| 事業概要 (5行程度以内。別添可) | ①ナノマテリアルの吸入による長期がん原性試験の予備試験を行うための試験装置の改造及び性能確認試験の実施 ②長期がん原性試験の濃度設定のための予備試験の実施 ③遺伝毒性試験によるナノマテリアルに係る有害性等の情報収集 ④ナノマテリアルの有害性調査に関するOECD等の国際会議への出席 ⑤ナノマテリアルの作業環境中における測定・評価及びナノマテリアルのばく露防止対策等について国内外の情報収集 | | | | | | |
| 実施方法 | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他 | | | | | | |
| 予算額・執行額 (単位:百万円) | 予算の状況 | 当初予算 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度要求 |
| | | 補正予算 | | 402 | 179 | 111 | 329 |
| | | 繰越し等 | | | | | |
| | | 計 | | 402 | 179 | 111 | 329 |
| | 執行額 | | | 386 | 167 | | |
| | 執行率 (%) | | | 96% | 93% | | |
| 成果目標及び成果実績 (アウトカム) | 成果指標 | | 単位 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 目標値(年度) |
| | 平成24年度以降に実施予定の長期の吸入ばく露試験を行うための予備試験の実施中であるため、アウトカムをたてることができない。 | | 成果実績 | | | | |
| 活動指標及び活動実績 (アウトプット) | 活動指標 | | 単位 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度活動見込 |
| | 長期発がん性試験方法の確立のため、ナノマテリアル吸入ばく露装置の改造及び予備試験を行う。 (平成21年度は吸入ばく露装置1基の試作及び代表的ナノマテリアル1物質を用いての性能確認試験を実施したのものであり平成22年度と実施内容が異なるため、同等に評価できない。また、平成20年度は事業の開始前である。) | | 活動実績 (当初見込み) | | | ナノマテリアル吸入ばく露装置の改造及び予備試験(2週間ばく露試験)を実施した | — |
| 単位当たりコスト | 166 (百万円/1事業) | | 算出根拠 | 単一物質の試験であり、「単位」に分割できない。 | | | |
| 平成23・24年度予算内訳 | 費目 | 23年度当初予算 | 24年度要求 | 主な増減理由 | | | |
| | 諸謝金 | 0.1 | 0.9 | 平成23年度までは、ナノマテリアルの吸入ばく露装置の改造及び予備試験を行っており、平成24年度からナノマテリアルの長期吸入試験を開始することとしているため | | | |
| | 旅費 | 0.2 | 3.3 | | | | |
| | その他の事業費 | 88.7 | 284.7 | | | | |
| | 委託事業管理費 | 17.0 | 24.4 | | | | |
| | 消費税 | 5.0 | 15.7 | | | | |
| | 計 | 111 | 329 | | | | |

| 事業所管部局による点検 | | | |
|--|--|---------------------------------------|--|
| | 評価 | 項目 | 特記事項 |
| 目的 状況・予算 の | ○ | 広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。 | |
| | ○ | 国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。 | |
| | - | 不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。 | |
| 資金の 流れ、 費目・ 使途 | △ | 支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。 | <p>ナノマテリアルの吸入ばく露試験事業の成果は、ナノマテリアルによる健康障害防止措置の検討等に用いるものであり、国際的に認められる基準に従ってナノマテリアルのがん原性試験及びほ乳類培養細胞を用いる染色体異常試験による遺伝毒性試験を実施する必要があることから、がん原性試験及びほ乳類培養細胞を用いる染色体異常試験に係る労働安全衛生法GLP(優良試験所基準)の適合確認を受けている試験機関又はそれと同等以上の機関で実施される必要がある。また、ナノマテリアルの吸入ばく露試験装置の製作・改造及び性能確認には高度な技術が必要とされるとともに、予備試験についても最適の条件を検索し試験を実施する必要があるなど、本事業の実施には高度な能力及び管理体制が必要とされる。</p> <p>これらのノウハウに関しては、具体的な仕様の提示が困難であり、試験を実施できる体制・能力を十分に有しているかどうかを審査する必要があるため、複数の者に一定の条件の下で企画書等の提出を求め、当該業務の目的に最も合致し業務遂行能力等が最も優れた者を契約相手方として選定する方式である企画競争によることとするものである。</p> |
| | - | 単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。 | |
| | ○ | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | |
| | - | 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 | |
| | ○ | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | |
| 活動実績、 成果実績 | ○ | 他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。 | |
| | - | 適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。 | |
| | - | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 | |
| | - | 類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 | |
| | ○ | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 | |
| 点検結果 | 平成22年度は、いずれの目標も達成しており、ナノマテリアルによる有害性調査のために、引き続き事業を実施すべきと考える | | |
| 予算監視・効率化チームの所見 | | | |
| 現状 通り | ナノマテリアルの有害性等調査事業については、引き続き事業内容及び予算規模を維持すべきである。 | | |
| 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等) | | | |
| 平成22年度は、いずれの目標も達成しており、ナノマテリアルによる有害性調査のために、引き続き事業を実施すべきと考える | | | |
| 補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載) | | | |
| | | | |

※平成22年度実績を記入

ナノマテリアルの有害性等調査事業

厚生労働省
(179百万円(平成22年度予定価)

事業管理、受託者への指導

【企画競争入札】

A. 中央労働災害防止協会
(159百万円(平成22年度確定額)

・ナノマテリアルの吸入による長期がん原性試験の予備試験を行うための試験装置の改造及び性能確認試験の実施
・長期がん原性試験の濃度設

【総合評価落札方式】

B. 労働安全衛生総合研究所
(7百万円(平成22年度確定額)

・ナノマテリアルの作業環境中における測定・評価及びナノマテリアルのばく露防止対策等について国内外の情報収集等

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

| A.中央労働災害防止協会 | | | E. | | |
|---------------|--------------------|--------------|----|-----|--------------|
| 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) |
| 諸謝金 | 専門家会議出席謝金 | 2.4 | | | |
| 旅費 | 専門家会議出席旅費 | 1.4 | | | |
| その他の事業費 | 吸入実験装置工事費用 | 110 | | | |
| 委託事業管理費 | 委託業務担当者経費 | 38.2 | | | |
| 消費税 | 消費税 | 7.5 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 160 | 計 | | 0 |
| B.労働安全衛生総合研究所 | | | F. | | |
| 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) |
| 諸謝金 | 専門家会議出席旅費、現地調査旅費など | 0.9 | | | |
| 旅費 | 専門家会議出席謝金 | 0.2 | | | |
| その他の事業費 | 機器輸送費、その他消耗品など | 5.6 | | | |
| 消費税 | 消費税 | 0.3 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 7 | 計 | | 0 |
| C. | | | G. | | |
| 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 0 | 計 | | 0 |
| D. | | | H. | | |
| 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 0 | 計 | | 0 |

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|----|-------------|----------|--------------|----------------|-----|
| 1 | 中央労働災害防止協会 | 事業概要のとおり | 159 | 随意契約 (企画競争) | - |
| 2 | 労働安全衛生総合研究所 | 事業概要のとおり | 7 | 4 | - |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |
| 7 | | | | | |
| 8 | | | | | |
| 9 | | | | | |
| 10 | | | | | |